

6. 地域別募集内容

(2) 南西アジア（インド、ネパール、モルディブ、バングラデシュ）

事業概要

◆基本情報

- 新興市場として南西アジア向け日本産食品の市場開拓を目指す企業のために、現地バイヤーとの商談や現地市場理解の機会を提供します。
- 南西アジアでは、事業参加者が現地に渡航した形での対面商談会（ダッカはオンライン商談を併設）、事業参加者の商品情報を掲載した商品カタログによる商品紹介等を通じて、現地バイヤーとの商談機会を組成します。イベントの詳細は次ページ以降を確認ください。
- 任意の現地渡航イベントに参加いただくことが可能ですが、後掲の④南西アジアGGWカタログ紹介事業に参加登録いただくことが参加条件となります。
- 各地のイベントは連動してスケジュールを組みますので、効率的に複数のイベントに参加いただけます（9月下旬～10月上旬を予定）。
- 各イベントに参加するバイヤーは、各地の食品輸入事業者、卸売企業、飲食業関係者、業界団体等です。

◆参加方法（詳細は各事業募集ページをご覧ください）

① Hotel Asia（モルディブ（フルマレ））

→展示会への出展となり、原則として現地渡航が前提となります。

② 日本産食品紹介・商談会（バングラディッシュ（ダッカ））

→現地でのリアル参加と、日本からのオンライン参加両方を募集します。

③ 日本産食品商談会（インド・ネパール）

→原則として現地渡航が前提となります。一方のみの参加も可能。

→ムンバイでの事業は大型イベント開催に合わせた12月を予定。

④ カタログ、商品サンプルによる商品紹介（各地域）

→通年でカタログを使った商品紹介を南西アジア全域で行います。

商品情報だけでも可能ですが、商品サンプルがあると商談に繋がりやすい傾向があります。

→1、2、3のいずれかに参加を希望される方は、本カタログ紹介登録が必須となります。

6. 地域別募集内容

(2) 南西アジア（インド、ネパール、モルディブ、バングラデシュ）

① Hotel Asia展（モルディブ）

※2026年5月募集時点での情報です。今後内容に変更がある可能性があります。

◆事業概要

南西アジアGGWカタログ紹介事業参加者の中から、現地に輸送または持ち込み可能な商品提供企業を対象に、モルディブ・フルマレで開催されるモルディブ最大の食品・観光関連見本市「Hotel Asia」にジェットロブースを設置し、商品プレゼンテーション・商談の機会を提供する予定です。同見本市には、食品や食器、ホテルの設備やインテリア分野を中心に300社以上が展示し、約50カ国からホテルの調達担当者などが来場します。モルディブは世界有数の国際観光地であるとともに、南西アジアでは有数の日本食集積地になっています。国内の各リゾートホテルには40店舗以上の日本食レストランがあり、高価格帯の商品でも潜在的な需要があります。

◆モルディブ（フルマレ）

[場所] モルディブ（フルマレ）

[時期] 2026年9月28日～9月30日

[有望商品]

- 世界で人気のある日本食や海鮮料理（寿司、天ぷらなど）に活用できる食品、茶、菓子類など。
- リゾートホテルで展開される高級飲食店向け業務用食品
- アルコールや豚関連製品の見本市での展示は不可、カタログなどでの紹介は可能。
- なお、首都のマレ・フルマレを含むローカル島では、アルコールや豚関連製品の持ち込みが禁じられているが、許可を取得したリゾートホテルでは提供しています。

[参加内容]

- ジェットロブース（1コマ）を用意します。そこで現地参加者の商品を展示、商品紹介・商談をしていただくため現地参加が前提となります。

[参加方法]

STEP 3で参加の意思確認を行います。参加意思をされた方には、後日詳細情報をお送りします。

[2025年度の出展]

- 現地で出展した日本企業からのコメント：

日本文化や日本食の
人気が高まる一方で、
本格的な日本製品を
入手しにくい地域だ
からこそ、大きなビ
ジネスチャンスを感じ
た

- これまでに出展した他の海外見本市と比べると規模はコンパクトだが、業界の主要関係者が出展しており、商談・情報収集の密度・確度は随一だった。
- モルディブに加えて中東地域の代理店候補企業も発掘できた。
- モルディブは欧州からの観光客が多く、日常的に欧州の富裕層向けに料理を提供しているシェフから、自社商品へのフィードバックも得られた



2025年度ジェットロブースの様子



2025年度日本食輸入企業ブースの様子

6. 地域別募集内容

(2) 南西アジア (インド、ネパール、モルディブ、バングラデシュ)

② 日本産食品紹介・商談会 (バングラデシュ)

※2026年5月時点での情報です。今後内容に変更がある可能性があります。

◆日本産食品紹介・商談会 (バングラデシュ) の事業概要

- 南西アジアGGWカタログ紹介事業参加者の採択商品に加え、現地に輸送または持ち込み可能な商品を対象に、バングラデシュ・ダッカにおいて商品プレゼンテーションおよび商談会を行う予定です。
- 現地レストランやホテルと連携しイベントを企画・実施することで、商品の魅力や特徴を現地バイヤー・レストラン関係者にアピールします。**バングラデシュ市場に取り組む理由に、日・バングラデシュ経済連携協定 (EPA)** があります。2024年3月に交渉開始を決定し、2025年12月の大筋合意を経て、2026年2月6日に署名に至りました (効力発生時期は各国の国会承認後)。バングラデシュは戦略的要衝に位置する魅力的な成長市場です。バングラデシュにとって本協定は初のEPAであり、日本・バングラデシュ間の貿易の拡大を始めとする経済関係の強化等に資することが期待されます。
- バングラデシュ・ダッカにて、南アジアGGWカタログ紹介事業採択商品につき、展示・プロモーションを行う予定です。ダッカでは、輸入業者、現地レストラン、バングラデシュ政府関係者等を対象とした、日本食市場の拡大を目指した機会を提供します。現地レストランや在バングラデシュ日本大使館との連携を検討中です。

[開催場所]

バングラデシュ・ダッカ

[開催時期]

2026年10月5日 (月)、6日 (火)
(Hotel Asiaの直後に開催予定)



2025年度日本産食品披露会の様子

[対象商品]

南西アジアGGW通年南西アジアGGWカタログ紹介事業採択商品

[有望商品]

- 世界で人気のある日本食 (寿司、ラーメン、天ぷらなど) に活用できる食品、菓子類
- フュージョン料理や現地ローカル食品への汎用性が高く、様々な食べ方提案ができる食品
- ハラール対応できる食品
- 飲食店向けの業務用食品
- 特徴や味付けがはっきりした食品
- アルコールや豚関連製品は不可



バングラデシュで食べられる日本料理の一例

[商品プレゼンテーションの内容 (予定)]

バングラデシュ (ダッカ) 日本産食品披露会

(日本企業から参加バイヤー向けに対面またはオンラインでプレゼンテーション、事前事後に商談組成) 日本企業より自社紹介および商品紹介のプレゼンテーション・試食、バイヤーからのコメント

[参加内容]

- 事業参加者の商品を展示、商品紹介・商談をしていただきますので、**現地参加を推奨**します。
- 当日オンラインによる商品説明・商談が可能な場合は、事業参加対象となります。
- 渡航企業対象にダッカ食品市場視察ツアーの開催を計画しています (渡航企業数により実施可否を判断)。

[参加方法]

STEP 3で参加の意思確認を行います。参加意思を示された方には、後日詳細情報をお送りします。詳細が決まり次第随時ご案内し、参加意向を伺います。なお、対面参加が望ましいためインド、ネパール、モルディブ企画展の開催日近くで実施日を検討中です。

[2025年度の成果 (初開催)]

- 日本企業 (プレゼンテーションを実施) : 7社 (対面参加2社、オンライン参加5社)
品目: わさび、抹茶、米菓、豆加工品、抹茶カステラ、ソース、ハラールサプリ
- 日本企業 (サンプル提供) : 26社
品目: 乾麺 (うどん、パスタ、そうめん)、調味料 (醤油、すし酢、味噌、油)、飲料 (果汁ジュース)、だし、サプリメント、抹茶、菓子
- バングラデシュバイヤー: 11社 (輸入業者5社、日本食レストラン3社、小売店2社、ホテル1社)
- 商談数: 19件

6. 地域別募集内容

(2) 南西アジア（インド、ネパール、モルディブ、バングラデシュ）

③日本産食品商談会（インド、ネパール）

※2026年5月時点での情報です。今後内容に変更がある可能性があります。

◆日本産食品商談会（インド、ネパール）の事業概要

- ・南西アジアGGWカタログ紹介事業で登録いただいた商品に加え、現地に輸送または持ち込み可能な商品を対象に、インド国内（主にムンバイを想定）および新たに周辺地域（主にカトマンズを想定）にて商品プロモーションを行う予定です。
- ・現地レストランや食品展示会を活用しながらイベントを企画・実施することで、商品の魅力や特徴を現地バイヤー・レストラン関係者にアピールします。
- ・インドについては、2026年12月（予定）にムンバイにおいて大型食品関連イベントに合わせて・市場調査ミッションを開催します。上記ミッションでは、現地レストランのシェフにサンプル商品を用いたメニューを開発いただき、試食提供を依頼するイベントを開催します。
- ・インドの輸入業者は価格重視の商品選定をする傾向にありますが、現地シェフと協力しインド人が食べやすいメニュー開発やその試食イベントを実施することで、新しい日本食材の魅力を伝え、インドへの輸入のきっかけとすることを狙いとしています。
- ・ネパールについても、新たに現地集合型商談・市場調査ミッションを予定しています。

◆開催都市（予定含む）

インド国内都市（主にムンバイを想定）及びネパール（カトマンズ）

[時期]

2026年10月上旬 インド国内都市

2026年10月上旬～中旬 ネパール（カトマンズ）

2026年12月頃 インド（ムンバイ）（予定）

[対象商品]

南西アジアGGWカタログ紹介事業採択商品

[有望商品]

- ・飲食店向けの業務用食品。
業務利用可能な小売向け食材を含む。
- ・ベジタリアン対応商品（乳製品を含むラクトベジタリアン対応商品を含む）であること。
- ・健康志向に対応できる食品（免疫向上、低糖質、減塩等。ただし、サプリメント、医薬品は対象外とする）であること。
- ・特徴や味付けがはっきりした食品であり、差別化が可能な食品であること。

[参加方法]

STEP 3で参加の意思確認を行います。参加意思を示された方には、後日詳細情報をお送りします。



2025年度 試食イベント
調理されたフュージョン料理
(インド)



2025年度 現地バイヤーとなる
OEM企業との商談会
(インド)



2025年度 現地輸入業者との
商談 (インド)

6. 地域別募集内容

(2) 南西アジア（インド、ネパール、モルディブ、バングラデシュ）

④カタログ、商品サンプルによる商品紹介（南アジア共通）

基本情報

【期間】カタログ紹介：2026年8月～2026年12月頃

【参加バイヤー】南西アジア地域における食品輸入事業者、卸売企業、飲食業関係者、業界団体等

スケジュール

7月初旬 出品者確定

8月以降 カタログをバイヤーへ紹介、バイヤーが関心を示した商品のオンライン商談組成、または事業者の渡航時期に合わせた商談を実施

対象商品

事業実施地域への商品輸送（国際郵便等）、持ち込みが可能な加工食材全般を対象とする。（例：調味料、水産物、業務用加工食品、インスタント・半調理済食品、菓子、ベジタリアン対応食品など）

※南西アジアでは日本産食材の小売需要が現時点では限定的なため、業務用食品を優先的に選定対象とする。ただし、業務用食品には、レストランおよびホテル等向けの小ロット需要を想定した商品を含むものとし、小売向け食品全般を一律に排除する趣旨ではない。

※製造日から1年以上の消費期限を有する商品であること。

※オンライン商談後にサンプル送付する場合は常温保存が可能であること。気温が50度以上となる環境下においても品質劣化や腐敗の恐れがないこと。

対象要件

事業者として海外輸出実績を有し、英語表示対応はじめ各国輸入規制に対応できるノウハウを有すること。

※食肉関連（牛、豚、鶏等）については日印間のルール上輸入不可のため対象外。

※規制に関する参考情報は[こちら（インド）](#)

有望商品

- ・飲食店向けの業務用食品。業務利用可能な小売向け食材を含む。
- ・インド・ネパール向けについてはベジタリアン対応商品（乳製品を含むラクトベジタリアン対応商品を含む）であること、バングラデシュ・モルディブ向けについてはハラール対応可能である旨を表示できる食品であること。
- ・健康志向に対応できる食品（免疫向上、低糖質、減塩等。ただしサプリメント、医薬品は対象外とする）であること。
- ・特徴や味付けがはっきりした食品であり、差別化が可能な食品であること。

特徴

- ・南西アジア全域において遠方のバイヤーにアプローチするため、カタログを作成します。
- ・関心を示したバイヤーに情報提供を行うことで、商談参加を呼びかけます。※必要に応じて国際小包その他の手段でサンプル品の提供をお願いする場合があります。

募集企業数

60社程度

カタログ掲載商品数

STEP2でご登録いただいた商品のうち、最大1商品まで



2025年度 試食イベント調理の様子
（インド）